

## とっとり被害者支援センターの設立に寄せて

鳥取県生活環境部長 石田 耕太郎



新年、明けましておめでとうございます。

昨年は、10月に「とっとり被害者支援センター」が本格的に業務を開始され、鳥取県における犯罪被害者等の支援にとって大きな前進の年となりました。

支援センター設立にあたり、多くの県民の皆様にご協力をいただくとともに、関係機関の皆様、ボランティア支援員の方々に多大の御尽力をいただいたことに、心から感謝と敬意を表します。

犯罪被害者等の支援は、これまでは、犯罪や事故発生後に最初に被害者等と接する立場にある警察が、被害者等の保護など様々な取り組みを行ってこられたところであります。しかしながら、被害者やその御家族が抱える問題は、損害賠償や公判に関することに限らず、一般行政の施策分野である保健、医療、福祉をはじめ多岐にわたっており、関係機関が十分連携して取り組むことが重要と考えられます。

このような中、民間組織の被害者支援団体である「とっとり被害者支援センター」が業務を開始され、理不尽にも犯罪等の被害者やその御家族となられた方々が安心して相談でき、被害直後から必要な情報や支援を受けることのできる仕組みが整備されたことは、大きな意義があるものと考えております。

今後も支援センターが、警察をはじめとする行政や県民の皆様、関係者の方々と協働・連携しながら、被害者やその御家族に寄り添った活動をしていただくことを期待しております。

県といたしましても、被害者等のおかれた立場を広く県民に訴えて、被害者等への思いやりや支援の重要性を広める活動を進めるとともに、昨年制定した「鳥取県犯罪のないまちづくり推進条例」に基づき、犯罪のない安全で安心なまちづくりを推進してまいりたいと考えております。

終わりに、「とっとり被害者支援センター」の今後ますますの発展と、新年が皆様方にとりまして、良い年となりますようお祈り申し上げます。

鳥取県警察本部長 田代 裕昭



謹んで新春のおよこびを申し上げます。

「とっとり被害者支援センター」が初めて迎える新年です。私たちのこの鳥取の被害者支援が、一層温かく、そして深みのあるものへと発展し続けていく、更なる希望の年となることを願ってやみません。

もちろん、県警察も、そして私自身も、皆さまの御指導御助言をいただきながら、昨年が増えて知恵を出し、汗を流していこう、という決意を新たにしている今日この頃です。

警察本部長に着任以来、被害者支援のための活動に精力的に携わっておられる多くの人々と出会い、そして県内県外の被害者遺族の方々にもお目にかかってお話をうかがう機会をいただきました。さまざまな局面で、私の眼をひらき、お教をいただき、また、(本来なら警察の責任者として「支援」を提供申し上げる側であるはずの)私を逆に励ましてくださった全ての皆さまに、この場をお借りしてあらためて厚く御礼申し上げます。

皆さまの高い志と熱い思いが、官民各界各層の人々の心を揺り動かし、本県においても、やや長かった《産みの苦しみ》を乗り越えて、「支援センター」の姿になってみごとに花ひらいたのです。

私たち警察は、これからもずっと、「支援センター」のパートナーとして恥ずかしくない活動を、そして被害者の方々の期待にお応えできる仕事を、積み重ねていきたいと思っています。

落合理事長をはじめ役員・事務局の皆さん、また、親身な相談活動に日々御尽力くださっている被害者支援ボランティアの皆さん、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

結びに、「支援センター」のますますの御発展、そして、被害者の方々を思いやり支えていく気運が地域社会の隅々にわたって醸成され、より安全で安心な社会が構築されることを心より祈念いたしまして、ごあいさつとさせていただきます。